



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Yasuo Ueno Address: 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan

Mail : uenoashiya@kbd.biglobe.ne.jp

URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

- 国際協会会長 Ulrik Lauridesen (デンマーク)
“Let Your Light Shine” 「輝かそう、あなたの光を」
- アジア太平洋地域会長 利根川恵子 (東日本)
“Be the light for change” 「変革のための光となろう」
- 西日本区理事 深谷 聡 (名古屋クラブ)
“Let's illuminate the light of hope for future”
「未来に灯そう(ともそう)希望の光り」
- 六甲部部长 井出 浩 (神戸クラブ)
「YMCA とのさらなる協働を目指して」
- 芦屋クラブ会長 上野恭男
「楽しいクラブライフを！」

今月の聖句

イエスは言われた。「今日、救いがこの家を訪れた。この人もアブラハムの子なのだから。人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである。」

<ルカ福音書 19:9~10>

11月第1例会

と き: 2023年11月15日(水) 19:00~21:00

と ころ: ホテル竹園芦屋

司 会: 島田 恒ワイズ

- | | |
|---------------|-----------|
| 1. 開会点鐘 | 上野恭男会長 |
| 2. クラブソング斉唱 | 一同 |
| 3. 聖書朗読 | 羽太英樹ワイズ |
| 4. ゲスト紹介 | 島田 恒ワイズ |
| 5. 食前感謝 | 山口光一ワイズ |
| 6. 会食・懇談 | |
| 7. ゲストスピーチ | 田辺征一氏 |
| 「地球温暖化考」 | 元鹿児島大学教授 |
| 8. 第2例会議事録の承認 | 上野恭男会長 |
| 9. 事業委員の報告 | 各事業委員 |
| 10. YMCA報告 | 横山徹太郎担当主事 |
| 11. ニコニコ献金報告 | 坂東幸子ワイズ |
| 12. 誕生日祝い | 上野恭男会長 |
| 堤 清ワイズ・福原美鈴 | メネット |
| 13. 閉会点鐘 | 上野恭男会長 |

- | | |
|------------|-----------|
| 会 長 | 上野恭男 |
| 直前会長 | 大岩雅典 |
| 副 会 長 | 山口光一・福原吉孝 |
| 書 記 | 柏原佳子 |
| 会 計 | 桑野友子 |
| 監 事 | 島田 恒 |
| 担当主事 | 横山徹太郎 |
| 六甲部国際・交流主査 | 柏原佳子 |

11

Nov., 2023
317号

留学生交流会

濱瀬 眞知子

芦屋ワイズの活動に留学生交流会があります。

2023年2月15日に、3年ぶりにルナホール(小ホール)にて、13名の留学生を迎えて開催されました。

7月、三宮会館の専門学校のエレベーターの中で、一人の留学生から声をかけられました。パキスタンからの留学生です。「今年の2月留学生交流会で、お会いしましたね！あの会は日本に来て初めて日本の方々とのふれあった楽しいひと時でした。とても、楽しかったです」。笑顔で話す彼女に、私も幸せな気持ちになりました。

来日して間もない外国での不安な気持ちの中、ホット安らぐひと時だったようです。

コロナ禍、様々な制限の中、例年通りのポットラックパーティーではなく、十分なことができなかった交流会でしたが、日本での楽しい思い出の1ページになったこと、この会の意義を、改めて感じました。

以前オーストラリアのアデレードでの、専門学校生の語学研修に引率したとき、アデレードの方々が、ウエルカムパーティーを開いてくださり、手作りのサンドイッチのおいしかった事、思い出されます。

世界では、争いが絶えません。とても不安定な世の中です。留学生とのふれあいはほんの些細な活動ですが、若い学生の心にすこしでも楽しい思い出が残り、その輪が世界に広がることを希望してやみません。

10月例会集計		
第1例会出席	例会出席率	BF切手
メンバー 12名	出席者 12名	累計 gm
メネット 名	メイクアップ 2名	
コメント	合計 14名	ニコニコ
ビジター 2名	在籍者 17名	21,800円
ゲスト 2名	(内広義会員1名)	累計 55,300円
合計 16名	出席率 82.4%	

10月第1例会報告

日時：10月18日(水) 19:00～21:00
場所：芦屋市民センター203号室 (敬称略)
参加者：上野恭男会長・柏原佳子・桑野友子・権 甲植・堤 清・中島かおり・中山豊美・羽太英樹・坂東幸子・福原吉孝・船橋知子(各ワイズ)、横山徹太郎担当主事
ビジター：柳 敏晴ワイズ(神戸西クラブ)＝ゲストスピーカー 青柳美知子(宝塚クラブ・メネット委員長)
ゲスト：田辺征一氏(元鹿児島大学教授)＝11月スピーカー 中澤暁子氏(柳敏晴ワイズご友人・教え子)

10月18日(水)、芦屋市民センターにて、第1例会が開催されました。今回も、プロ野球クライマックスシリーズファイナルステージの開催に伴い、ホテル竹園ではなく、市民センターでの開催となりました。ゲストスピーカーに柳敏晴ワイズをお招きし、「人生100年時代の健康～ウエルネスから考える～」というテーマでお話していただきました。柳ワイズは、元神戸



YMCA 職員で、鹿屋体育大学で教授をされ、現在は神戸常盤大学教授としてご活躍です。そして、神戸西クラブに所属されています。本日、ビジターとして参加いただいた中澤暁子氏は、柳ワイズの鹿屋体育大学時代の教え子です。

柳ワイズのお話は、とても分かりやすく頭に入ってきました。年齢を重ねるとともに健康のことが気になる私たちにとって、寿命や健康寿命に関することは、最も関心のあることの一つです。世界保健機関健康憲章前文の冒頭に、「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、完全に良好な状態(well-being)にあることをいう。」とあり、健康に過ごすうえで、組織の一員であること・仲間と良好な関係にあることが、大切だというお話がありました。いがみ合ったり憎しみ合ったりしている暇はない、愛し合いなさい、と柳ワイズがおっしゃったことが、とても印象に残りました。自分自身を顧みると、生活を見直し、行動を健康的なものに改善する必要があると感じました。このようなお話を聴くことができ、とてもありがたかったです。その後は、青柳美知子メネット委員長からのお知らせ、事務報告・各事業報告、YMCA 報告、ニコニコ報告、誕生日お祝い、閉会点鐘と、いつも通り進みました。



た。来月は、田辺征一氏にゲストスピーカーとしてお話していただきます。

横山徹太郎

六甲部ローンボウルズ大会開催

コロナのために自粛を余儀なくされていたローンボウルズ大会が、4年ぶり10月7日(土)にしあわせの村で開催されました。ローンボウル会場に集合した面々は、神戸クラブ井出浩六甲部部長、神戸ポートクラブより大野智恵ワイズと松田道子ワイズ、神戸学園都市クラブより、柴田昌一会長、杉本隆人ワイズ、中村剛ワイズ、芦屋クラブは柏原佳子六甲部地域奉仕・環境事業主査、上野恭男会長、桑野友子ワイズでした。



快晴で緑に映えるローンボウルコートは美しく、3組に分かれてゲームが始まりました。

芦屋は3名でチームを組み、戦いましたが、早々と2位に決定し、学園都市組と神戸と神戸ポート

の混成チームが優勝を争い、学園都市組がめでたく勝利しました。神戸学園都市クラブの合田純二ワイズ、洋子メネットがコーチとして会の進行などフォローされ、参加賞をも寄贈され感謝でした。ゲームが終わり、柏原主査が寄贈された賞品で1位～3位まで表彰が行われました。

柏原主査の閉会の挨拶を最後に、久しぶりの六甲部ローンボウルズ大会は、気持ちよくお昼過ぎに終了しました。

上野恭男

評議会では、今年度は六甲部としては9月3日(日)には行なわないと、発表しましたが、ローンボウルズ代表合田ワイズより、日程の変更と共に強いご希望も頂き実施を決めました。その日は、真っ青な空とうろこ雲、青い芝に包まれ素晴らしい秋の天候に恵まれました。

前交流主査田辺征一氏の引き継ぎに感謝いたします。芦屋クラブは、コロナ禍と日曜日の為、4年ぶりの参加です。以前は、多くのメンバーが参加しました。故飯田ワイズ、五十嵐ご夫妻とイギリス在住のご息子とお孫さま、渡辺倫子さま・・・現在の芦屋クラブの中でも体調を崩されたり、脚が弱られたり、参加者はグンと減少！宝塚クラブ会長からももう運転する人がいない！と高齢化の波を感じますねとご連絡をいただきました。そんな中、井出六甲部部長以下11名の集まりで寂しいかなとおもいきや、3組のグループ分けとお二人のコーチでう



まく構成された運営に感謝です。イギリス生まれの格式あるスポーツで、協議中は静かなプレイだと思いますが、とても賑やかだったのには少々反省！合田夫妻より参加賞が全員に、又、3組だけのコンペでしたが1位、2位、3位は柏原交流主査から贈呈をいたしました。

国際・交流主査 柏原佳子

西宮子供 YMCA カーニバル

10月28日(土)秋晴れに誘われて、さて、「YMCA秋の祭り」と「西宮子供YMCAカーニバル」のどちらに行こうか迷いました。クリスマス合同例会プログラムへのお返事をいただきましたが、少々気にかかるメンバーの状況もあり、西宮YMCAに決めました。井上総主事にクリスマス例会のご案内が出来たのは幸いでした。



12時を回っていたので「カレーは残っているかな」「パザールの品は残り福かも」の心配はなく、今年も、中庭で幼稚園児を楽しませる催しでした。200円で綿菓子とポップコーン、ジュース200円のチケットを購入して入館、それでも西宮メンバーに喜んで迎えられました。コロナ禍の影響の大きさ、高齢化の深刻さを此処でも強く感じました。上野会長と柏原書記が参加しました。

12時を回っていたので「カレーは残っているかな」「パザールの品は残り福かも」の心配はなく、今年も、中庭で幼稚園児を楽しませる催しでした。200円で綿菓子とポップコーン、ジュース200円のチケットを購入して入館、それでも西宮メンバーに喜んで迎えられました。コロナ禍の影響の大きさ、高齢化の深刻さを此処でも強く感じました。上野会長と柏原書記が参加しました。

じゃがいもファンド報告

恒例のじゃがいもファンド、今年も無事終了しました。北海道の異常気象・長雨で農作物は大きなダメージを受けたようです。「十勝のじゃがいも・カボチャ」が届いたとの連絡を受け、10月10日福原ワイズと共に佐川急便倉庫に。当日引取りは桑野車だけで、じゃがいも29箱カボチャ2箱を佐川の方も手伝ってくれ車に満載、「急ブレーキをかけないで安全運転で！」と注意を受け、当日分の配達を完了。翌週「インカめざめ」もやっと届き、皆様に配達することが出来ました。

総売上は397,400円、仕入れ代金・経費を差し引いて、106,629円をじゃがいもファンドとして会計に入金しました。詳しい数字は芦屋メールで連絡済み、皆様ご覧になられた事と思います。今年も元担当主事の三島様が大いに協力をしてくださり売上げの50%強、又これも毎年の事ながら、退会された五十嵐様・飯田様・井上様・堀江様からご注文をいただき、本当に感謝しております。2名のメンバーから「自身は要らないので、みどり作業所へ寄付したい」との嬉しい申し出が。次年度も皆様の更なる御協力を！クラブファンドに寄与を！宜しくお願いします。桑野友子

セピア色のゴルフ体験記

◆【あのロストボール】60数年前、奈良国際ゴルフ倶楽部(1958年創設の名門コース)で開催された【関西学生選手権・予選】での出来事。スタートホールNO1(軽い下りの真直ぐなロング)の第一打がナイスショットでフェアウェイ右サイドをとらえた。しかし落下地点に着くとボールが見つからず。後輩キャディーと共に【制限時間一ぱい(昔は5分)】探す事に。やはり無い。悔しいが『紛失球』を宣告。そして次の組の選手達が待つ1番ティグラウンドに登り坂を〜は〜ひ〜ひ〜。迷惑をかけた事を謝りながらの打ち直しショットを……。ティグラウンドには関係者他、目撃者も多いたにも関わらず……。忘れられない不条理な出来事だった。◆【あのバンカーショット】これも学生時代(1959年)の珍しい体験です。大阪府と和歌山県の境目にある《歴史あるシーサイドコース(私の誕生と同じ1938年創設)》で関西学生・公式戦前日の練習日に起こった出来事。確か大阪湾近くに面した断崖絶壁にあるショートホールだった。当日は、くしくも台風が来ていて強風の日だった。第一打は無事に海沿いの絶壁を越えグリーン手前のバンカーに。そして2打目を【強いアゲインストの風】の中、5m先のピンの真上をボールは舞い上がった。ナイスショットと思った矢先、何と飛んで行ったボールが自分の方に向かって戻って来るではないか《ここまでは空中での話》。慌てて身をかわして本人に当たらなかったがボールは第二打目近くのバンカー内に鎮座していた。勿論、ルールブック第一章の冒頭にある【ゴルフはあるがままに…】の精神で3打目を。思い出すたびに苦笑する。《これらの記憶がいつまで残るかなあ……。もう、そろそろ忘却の彼方に。最近では昨日の夕飯メニューすら？》



◆【あのホールインワン】1992年54歳の春、私のホームコースで起こった事件？です。同じ大学のOB会員達で20名ほどの弦月会コンペでの事でした。私は1ヶ月前から原因不明の【頸椎(首)ヘルニア】で右肩右腕神経が痛く、とてもスイングなど出来ない日が続いていました。当然欠席のはずだが当番幹事だった為スコアを無視しての参加。空振りOB含め同伴のメンバーに迷惑をかけたが何とか午後からの《11番160Y》の谷越えショートホールにやってきました。肩の痛みは痺れに変わり……。『成るようになれ！』と開きなおる。当時から生産されだした流行の【タラコ】と呼ばれていた『カーボンヘッド』のユーティリティ・クラブでのショット。60Yのアプローチするような小さなスイング。するとボールは芯に当たった様な勢いでピンに一直線。ゆるい打上げのためグリーン面での行方はわからない。橋を渡りグリーン手前に来たが矢張りボールは見当たらない。やはりグリーンオーバーかと。OB止めの奥のバンカーもボールは見えない…。その時『有りました〜』『入ってますよ〜』と、同伴プレイヤーのひとりが興奮気味に叫んでくれた。まるで自分の事の様に。勿論ピックアップは私が痺れている右手で…。ボールにはピンの赤いペンキのキズがついている。恐らくカップとピン根元との間にピタッと直接入ったのでは……。夢の様。初めての【エース】〜【スコア・1】がスコアカードに記入するこの体験。心地良かった。当日のスコアはご想像に…。勿論【110】を遥かにオーバーしていました。【何が起こるか分からない。それもゴルフ。次は貴方、貴女かも……。】

◆その7年後の1999年に又しても【エース】が今度は震災後の不謹慎な時に中学校の同窓会コンペがあり多くの仲間が見守るなか(前後の組のみならずそのショートホールは混んでいる時は特に。)又もや《エース》を体験した。この際は打ち下ろしのホールでグリーン落下、【カップイン】まで、はっきりと……。◆ホールインワンはプロでも未経験の人が沢山、存在する。と言われています。あの小さなカップに入るなんて本当に信じられません。でも誰にでも起こる事かも……。篠坂幸彦

「聖句 読み解き」

これは、都エルサレムの東方、ヨルダン河近くにある古い町エリコが舞台の「ザアカイ物語」である。ザアカイはローマ政府の徴税請負人であった。その立場を利用して不正蓄財をし、民からは罪人として嫌われていた。その町にイエスが訪れた時のことである。彼は背が低く群衆にさえぎられたので、イエスを一目見ようと思い、走って先回りし、いちじく桑の木に登った。イエスはその場所に来ると、上を見上げて言われた。「ザアカイ、急いで降りてきなさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい」。感激した彼は、心を入れ替え、今後不正はしない、貧者には施しをすると宣言する。これにイエスは「今日、救いがこの家を訪れた」と言って彼を誉めたという物語である。ザアカイとイエスの立ち位置をみると、ザアカイは上から眺める。一方のイエスは下から声をかける。一般常識からは上下逆転しているように見える。ここからイエスという方は、最も低いところに身を置き、人に声を掛けられる方だと知ることができる。その方の問いかけにどう答えるかが問われている。 羽太英樹

10月第2例会議事録

と き: 10月25日(水)19時~18時20分

と ころ: 芦屋市民センター 204号室

参加者: 上野会長、大岩、桑野、島田、羽太、濱瀬、福原、坂東、柏原(各ワイズ)、横山担当主事

議事: 報告

◇ プリテン編集会議: 19時00分~10分 桑野編集長

◇ 第1例会今後の予定

・11月15日(水) スピーカーは田辺征一氏
演題「地球温暖化考」 (元鹿児島大学教授)

・12月22日(金) 芦屋クラブ25周年記念会&クリスマス祝会 西宮クラブと合同開催

・1月17日(水) スピーカー未定
案に対して迅速に対応する

・2月21日(水) 虚子記念文学館稲畑廣太郎館長

◇ 2月留学生交流会について

2月7日(水)を候補とし、横山担当主事にYMCAの留学生状況を把握していただく

◇ 次期会長及び各役職の決定

留学生交流会後の第2例会で行なう

◇ 西宮・芦屋合同クリスマス&芦屋クラブ25周年祝会

12月22日(金)18:00~21:00 H竹園飛鳥の間
イベントはオペラ音楽とピアノ演奏

クリスマスプログラム詳細を更に検討した

25周年記念としてYMCA井上総主事に贈呈を行なう
オークションを久しぶりに開催する

★全容を西宮クラブ浅野会長に連絡をする。(全面的に依頼をされています)

◇ 9月会計報告 桑野会計・承認

◇ その他

・ジャガイモファンド報告 (P3参照)

桑野・福原ワイズに感謝の拍手があった

・ロスター購入者: 上野、大岩、桑野、羽太、阪東、柏原、横山担当主事 以上7名

・チャリティラン協賛金@3,000 協力者

上野、大岩、権、桑野、島田、羽太、濱瀬、阪東、福原、柏原 以上10名

◇ YMCA 報告 横山担当主事

・「秋まつり」開催

10月28日(土)11:00~15:00

以上

書記 柏原佳子

YMCA ニュース

神戸 YMCA 学院専門学校 秋期入学式

◇10月5日(木)、神戸 YMCA 学院専門学校日本語学科の、秋期入学式が執り行われました。式には、民族衣装を着て出席している学生たちもいました。10月期生44名が入学し、神戸 YMCA 三宮会館は、ますます留学生でにぎわっています。これで、日本語学科の学生数は計140名となりました。今回、国別の内訳としては、最も多いミャンマーから22名、



次いで中国が13名、台湾4名、マレーシア1名、ネパール1名です。母国とは環境・文化・習慣等が違う日本へやってきて、留学生たちは不安や緊張でいっぱいです。オリエンテーションでは、先輩たちが新入生に、日本での生活に関する様々なことを、ていねいに教えてくれました。10月10日(火)から授業がスタートし、少しずつ学校や生活に慣れてきています。



◇10月28日(土)に開催された、神戸 YMCA 三宮会館の秋まつりでは、各国のお茶やお菓子がある「ワールドカフェ」を出店し、活躍・楽しんでいました。YMCA や日本のことを、もっと好きになってくれたらと思います。

横山徹太郎

編集後記: ◇朝夕は季節通りちょっと冷えますが、日中は未だ汗ばむ日もあります。日本シリーズ(関西ダービー)もまだ中、このプリテンが皆様に届く頃には決着しているでしょう。◇今年の流行語大賞がノミネートされました。圧倒的なのが無いように感じられますが、如何ですか? やはりプラスイメージの言葉が選ばれば良いですね。個人的には大谷翔平の「憧れるのは辞めましょう」、とてもポジティブです。◇23日(木・祝)はチャリティランです。コロナ禍の前はクラブからも大勢参加、行列が出来る「芦屋クラブのチヂミ」、懐かしいですね。 桑野友子